

企業の想定為替レート 平均 138 円 47 銭 前年調査とほぼ同水準に

実勢レートとの差は縮小するも、
企業収益の悪化リスクの注視が必要

中国地方・企業の想定為替レートに関する動向調査 (2025 年度)



本件照会先

土川 英樹、松岡 静生、玄道 一成
帝国データバンク
広島支店 情報部
TEL:082-247-5930(直通)
info.hiroshima@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/07/09

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

中国地方の企業における 2025 年度の想定為替レートは平均 138 円 47 銭となった。前回調査の 2024 年度(137 円 60 銭)と比べて、大きな変動はないことが分かった。分布状況では、「141 円～145 円」が構成比 26.9%を占めて最も高かった。業種別では、「サービス」が 142 円 94 銭で最も円安水準を見込んでいる。直近では 143 円前後で推移し、実勢レートと想定為替レートの差は縮小しつつあるが、実勢レートとの乖離による輸出入を通じた企業収益の悪化を招くリスクを引き続き注視する必要がある。

※帝国データバンクでは、企業の設定(想定)為替レートについて調査を実施し、

広島支店で中国地方に本社を置く企業の結果を集計・分析した。

調査期間は 2025 年 5 月 19 日～5 月 31 日(インターネット調査)。

調査対象は中国地方 2053 社で、有効回答企業数は 716 社(回答率 34.9%)。

分析対象は、このうち想定為替レートを設定している 134 社。

2025 年度の想定為替レート、平均 1 ドル = 138 円 47 銭 前年調査より 87 銭の円安水準を想定

今年 5 月時点で、2025 年度の外国為替レート(円/ドルレート)について、中国地方に本社を置く企業に尋ねたところ、想定為替レートは、平均 1 ドル = 138 円 47 銭(以下、1 米ドルあたりの円レートを示す)となった。

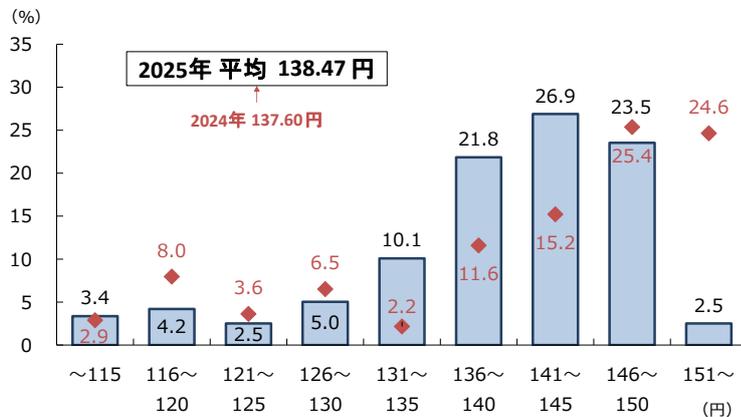
前回調査した 2024 年度(2024 年 5 月時点・137 円 60 銭)と比較すると、差は 87 銭の円安水準となったものの、大きな変動はなかった。

想定為替レートの分布をみると、最も割合が高かったのは、「141～145 円」で構成比 26.9%を占めた。次いで、「146～150 円」が 23.5%、「136～140 円」が 21.8%、「131～135 円」が 10.1%で続いた。なお、「151 円以上」は 2.5%となり、141 円以上を想定する企業が全体の 52.9%となり、半数を超えた。一方、「125 円以下」は 10.1%にとどまった。

規模別にみると、「大企業」(25 社)が 145 円 64 銭、「中小企業」(109 社)が 136 円 83 銭、「小規模企業」(40 社)が 134 円 58 銭となり、規模が大きいほど円安傾向であった。

業種別(母数 5 社以上)にみると、「サービス」(16 社)が 142 円 94 銭で最も円安水準となった。次いで、「卸売」(38 社)が 139 円 3 銭、「建設」(11 社)が 138 円 45 銭、「製造」(45 社)が 138 円 31 銭、「小売」(15 社)が 137 円 87 銭、「運輸・倉庫」(6 社)が 131 円 67 銭で続いた。

中国地方 想定為替レート



注1：◆は2024年の想定為替レートに対する分布割合
注2：母数は想定為替レートを設定している企業134社

	想定為替レート	
全国	139.64	(2,333)
中国	138.47	(134)
大企業	145.64	(25)
中小企業	136.83	(109)
うち小規模	134.58	(40)
農・林・水産	140.00	(1)
金融	-	(0)
建設	138.45	(11)
不動産	120.00	(2)
製造	138.31	(45)
卸売	139.03	(38)
小売	137.87	(15)
運輸・倉庫	131.67	(6)
サービス	142.94	(16)
その他	-	(0)

注1：網掛けは、中国地方の全体以上を表す
注2：全国の母数は想定為替レートがある企業 2,333社。中国は134社

まとめ

本調査によると、2025 年度の想定為替レートは平均 138 円 47 銭となった。昨年 5 月時点の想定為替レート(137 円 60 銭)と比べて、大きな変動はないことが分かった。

次ページにある資料の通り、2021 年後半～2024 年前半にかけて、実勢レートは想定レートよりも大幅な円安水準が続いたが、今年 4 月以降の実勢レートは 149 円台をピークに、直近では 146 円前後で推移し、想定為替レートとの乖離はそれ以前と比較して縮小しつつある。ただ、実勢レートとの乖離による輸出入を通じた企業収益の悪化を招くリスクを引き続き注視していく必要がある。

